



平成 27 年 4 月 9 日

各 位

会 社 名 イオンモール株式会社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 吉 田 昭 夫
(コード番号:8905 東証第一部)
問 合 せ 先 常 務 締 役 管 理 本 部 長 梅 田 義 晴
電 話 番 号 043 - 212 - 6733
当 社 の 親 会 社 イオン株式会社
代 表 者 名 取 締 役 兼 代 表 執 行 役 社 長 岡 田 元 也
(コード番号:8267 東証第一部)

個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

平成 27 年 2 月 期 (平成 26 年 3 月 1 日～平成 27 年 2 月 28 日) の個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 2 月 期個別業績と前期実績との差異

(単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A) 平成 26 年 2 月 期	173,039	44,391	43,350	25,856	118 円 03 銭
当期実績 (B) 平成 27 年 2 月 期	195,810	45,661	46,046	29,433	129 円 17 銭
増減額 (B-A)	22,771	1,270	2,696	3,577	-
増減率 (%)	13.2	2.9	6.2	13.8	-

2. 差異の理由について

当社は地域特性やマーケットニーズに沿った事業展開を推し進め、上期にイオンモール和歌山、イオンモール天童、イオンモール名古屋茶屋、第3四半期にイオンモール京都桂川、イオンモール木更津、イオンモール多摩平の森をオープンし、第4四半期には、12月にイオンモール岡山と、新規に7モールをオープンしました。また、既存モールにおきましては、イオングループ全国一斉セールに加え、イオンカードや「WAON」を活用した販促企画の展開、お客さま参加型のイベント開催等により集客力向上に努めるとともに、8モールで新規テナントの導入や既存テナントの業態変更・移転等のリニューアルを実施いたしました。

以上の結果、営業収益は1,958億1千万円(対前年同期比13.2%増)、営業利益は456億6千1百万円(同2.9%増)、経常利益は460億4千6百万円(同6.2%増)となりました。特別利益として固定資産売却益、投資有価証券売却益を計上した結果、当期純利益は294億3千3百万円(同13.8%増)となりました。

以 上